

本校がある霞ヶ関地区は、明治 22 年、的場村と笠幡村、安比奈新田が合併し、「霞ヶ関村」となりました。本校開校は明治 36 年 4 月、翌年 2 月に村の中央である現在の場所に移転しました。学区内の多くの保護者の方や地域の方が本校の卒業生であり、教育活動に御支援、御協力をいただいております。

さて、今年度本校は、101 名の 1 年生を迎え、全校児童 657 名、24 学級（内、特別支援学級 5）でスタートいたしました。学校教育目標は、心豊かなたくましい子の育成に向け、霞ヶ関小学校の「か・す・み」の頭文字から、「かしこい子・すこやかな子・みりよくある子」を掲げ、教育活動を展開しております。また、目指す学校像は、「人を大切にし、笑顔あふれる学校」といたしました。

学校は、子どもが生活している場所です。本校には様々な教育形態にて、教育活動を展開しております。そのため、教職員も多く、一人一人に充実した教育機会を与えることができる学校です。一人一人の子どもたちの自己満足感を充満させることで、子どもたちは「学校が大好き」と言います。

また、学校は集団生活の場でもあります。互いに協力して助け合うことや、学び合うことに意義があります。そこでは対話が求められ、挨拶は重要な鍵となるのです。挨拶なくして対話は始まりません。本校では、主体的、対話的な学びを推進し、すべての教科に、おいて、実践する取り組みを行っております。

また保護者、地域の期待に応える学校づくりに向け、子ども一人一人に助け合うことのすばらしさや、学び合うことの喜びを学校で経験させ、夢や希望がもてる子どもを育てていきたいと思っております。

そこで、本年度の重点として、次の 3 点について取り組みます。

「学校大好き」と言える子を育てます。
あいさつができ、心豊かで規範意識をもった子を育てます。
目標を持ち、わかる喜び、できる楽しさを味わう授業を行います。

学校で様々な経験をした子どもが、将来常に自分を高めることを心掛け、社会のため、人のために尽力を惜しまない人間になることを期待し、全教職員が一丸となって、熱意・誠意・創意をもって教育にあたっております。